

# 針の木谷～五色ヶ原山行

その (1)

2015.9/21～25 途中までA氏と。

北アルプス全一般登山道踏破達成の未踏区間である 針の木峠～平の渡し場～五色ヶ原間。釣り友のA氏の針の木沢での釣行の夢が合致して今山行が実施されました。A氏の休みの関係でお盆休みかこのシルバーウィークが予定でしたが、お盆は天候が悪かったので。シルバーウィークは各山小屋は大変な混雑（新記録とか）だったようですが 21～22日はテント泊だったので助かりました。3泊4日の山行は何度も経験しましたが4泊5日の山行は初めてでした。テント等を担いでもらい、別れる時は不要になった私のマット・釣り具等を持ち帰ってくれたA氏に感謝します。

9/21 (祭) 快晴 4:00 七倉駐車場で合流しA氏の車を置く～5:00 扇沢 5:30～6:50 大沢小屋 7:00～9:20 最終水場 (昼) 9:50～10:30 針ノ木峠 10:50～13:50 針ノ木谷出合上部 (テント設営・釣り・泊)

9/22 (祭) 快晴 6:10～6:30 針ノ木谷出合 (ザックを置き釣りに下る) 7:00～10:25 南沢出合手前で納竿する～10:30 巻き道入り口～11:25 巻き道終点～12:00 針ノ木谷出合 (昼) 13:10～15:30 船窪小屋テント場 (泊)

9/23 (祭) 快晴 6:10にA氏と別れてここから単独行～6:40 船窪乗越 6:45～7:40 針ノ木谷出合 8:20～9:55 昨日の引き返し地点～10:10 南沢出合 10:15～11:15 平の渡し場 (昼) 12:20～渡し船で12:35 平の小屋 (泊)

9/24 (木) 晴のち曇り 6:20～7:55 刈安峠～10:30 五色ヶ原山荘 (泊)

9/25 (金) 雨 6:20～6:45 ザラ峠 (2348M) 6:50～7:55 獅子岳 (2714M) 8:00～9:30 富山大学立山研究所 9:35～9:55 一の越山荘 10:00～10:40 ミクリガ池温泉 (入浴・昼食) 12:50～13:00 室堂 13:30～14:51 扇沢 15:00～15:30 帰宅

前夜は12:20頃に目が覚めてしまい、いろいろ考えていると寝付かない。重いザックを背負って針ノ木峠越えが出来るだろうか？ 駐車場が空いているだろうか？大イワナが釣れて竿が折れてしまわないか？等気になる事が多くて。仕方がないので早く家を出る。集合時間より30分も早く七倉の駐車場に到着、想定外にも満車状態、A氏も合流しヤット1台分置ける所を見つけて停める。A氏の車を置いて (彼は23日に船窪テント場で分かれて七倉へ下山するため) 私の車で難関の扇沢駐車場へ。左下へ下る駐車場の入り口に警備員がいて5:00に解放するとの事。置ける事が確定して一安心する。良かった。夜

中中解放するのでは無く、このようなやり方もトイレ等の問題も含めて合理的で助かると思った。前回の雲切新道～檜平山行から中3日しか経ってないのでまだ疲れが残っているし寝不足、12KG以上あるザックを背負っての不安な針ノ木峠への登りが始まる。水は途中で補給することにして持たないで。思ったより快調に歩ける。「大イワナがチラツクせいかな？」大沢小屋はすでに閉鎖されていて水も無し。

大沢小屋



雪渓歩きは少しだけ



一瞬困ったなと思ったが、横から沢があるだろうと思い登る。案の定何箇所かで水は入手できた。雪渓の上を歩いたのはほんの数百メートル、ほとんど夏道を歩く。最後の水場でたらふく飲んで水は重いので小屋で買うことにして軽量化を図る。予想以上に順調に早く小屋に着く。缶ビールと水を購入していよいよ針の木谷への下降開始。

峠が近づく、爺ヶ岳が



針ノ木小屋



道はシッカリしているし、紅葉が始まっていて快適。シルバーウィークの連休でもあり登ってくる人も5組ほどあり。涸れ沢が始まり、そのうちに沢となって来るが登山靴で何とかなる。「出合い」に到着予定時間より1:20早い。



針ノ木谷へ下降開始



谷の紅葉



少し上流にテントを張って早速釣りを始める。しかし全くアタリ・魚影が無い。イワナが居ないようだ、全くの想定外！。不思議だ？何故いないのか？少し下ってみるが全くイワナっ気が無い。又しても敗退だ。明日下流へ下って釣る事にして早く寝る。

涸れ沢歩き



ヤット水の流れに



2日目～テントを撤収して分岐にザック等を置いて釣り道具と水・行動食・地図を持って釣り下るがイワナっ気無が続く。そのうちに「古道」への高巻地点になる。高巻を始める、ところがこの高巻道が1時間位かかってしまう。再度釣り始めると尺物の大型が逃げて行く。イワナが居た！粘るが2度と餌を追わない。でもイワナが居ることが分かったので力が入ってくる。しかし以降釣り下がるが全く又アタリが無い。



出合に着く



釣り下がるがイワナっ気無し



今日は船窪のテント場へ登らなければならないし、時間が心配になってくる。南沢の出合も近づく感じでの付近からはネットの情報では「平の小屋」泊の釣り客が釣り上がってくるので魚は少ないだろうからそろそろ止めようかと思っていたらやっと 21CM位の小型が釣れた。気を取り直して少し釣り下がるが又アタリ無で納竿することにする。

古道高巻道



ヤット釣れた小型



往復 3 時間以上かけてザックを置いた分岐(出合い)に戻る。濡れたザック等を干したり、昼食食べたりで船窪のテント場に向けて登り始める。いきなりの急登が続く。釣りに予想以上のエネルギーを使ってしまい、ザックも重く体力的にもキビシイ登りが続く。時間が遅くなると 8~10 張りしか張れないテント場に空きがあるか心配なので頑張る。船窪乗越を過ぎるとテント装備の単独が後ろからついてくる。先に行かれてはテントが張れなくなるとはこまるので、追い抜かれぬように休まず登る。やっとの事でテント場に到着する。空きスペースも有りで一安心する。早速テント設営し、A氏は水場へ水汲み、私は船窪小屋へ(往復 40分)テント場使用料の支払いと酒の購入に。小屋は超満員、名物母ちゃんのとし子さんは居なかったが旦那さんは居た。外のテーブルには夕食が並び始めていた。テントに戻って早速宴会。ここのテント場は槍ヶ岳が見えるし素晴らしいロケーションだ。紅葉も綺麗で気持ちが良い。



船窪乗越への入り口



右蓮華岳、左針ノ木岳、その間の峠から下降



北葛岳と右は七倉岳



針ノ木岳、左立山三山



船窪小屋



残念な事は私がコーヒー・ココア・カフェオレ・レモンジュース・味噌汁等を入れた袋を忘れて来てしまった事だ。飲み物が無いのでパンを食べても味気が無いのが続いている。大反省だ。今日も暗くなったら早く寝る。

赤沼健治